

秦野の自然塾丹沢ドン会

20日に調査報告会

秦野市をフィールドとするNPO法人「自然塾に棚田や里山の再生保丹沢ドン会」が20日、同市の市立本町公民館



東海大学の北野忠教授とゼミ生の調査風景―NPO法人自然塾丹沢ドン会提供

で自然調査の中間報告会を開く。

同会は、活動に役立ててほしいと遺贈を受けて設立した基金を活用し、2017年から3年計画で秦野市の名古木地区の自然調査を実施している。生物多様性の現状を知り、伝統的な農村風景を次世代に伝えるための基礎データを得るのを目的とし、東海大学教養学部人間環境学科自然環境課程の室田憲一教授や慶応大学環境情報学部の一ノ瀬友博教授らの協力を得て、年間を通して実施している。

20日は東海大学教養学部の北野忠教授と藤吉正明教授が、17年から18年にかけて実施した水生生物と植物の調査結果について報告す

る。午後1時半から2時半。参加無料。事前申し込み不要。問い合わせはNPO法人自然塾丹沢ドン会事務局金田さん（090・6470・2850、正午から午後6時）。

【石塚淳子】

毎 日 新 聞

2019年(平成31年)4月16日(火)